

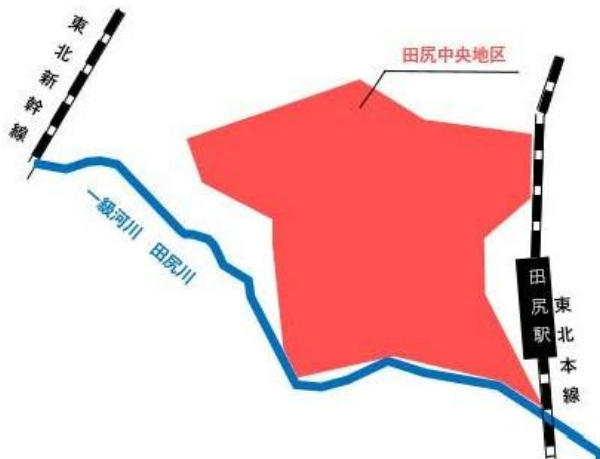
農地整備事業「田尻中央地区」の 権利者会議を開催しました

令和7年7月15日に、江合川沿岸土地改良区大会議室にて、農地整備事業「田尻中央地区」の権利者会議を開催しました。

権利者会議とは、農地整備により農地の区画が新しく変更されることに伴い、従来の土地所有者が整備後、どの土地に登記されるのかを定めた「換地計画」を決定する会議のことです。この会議は、関係権利者の3分の2以上が出席し、議長を除く出席者の3分の2以上が賛成することによって、議決されます。



今回の権利者会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため最小限に限定していた出席者などを従来（コロナ渦前）に戻し、開催しました。当日は、総権利者数680名のうち、550名（うち実出席者40名）が出席し、議長を除く541名の賛成により換地計画案は可決されました。



本地区は、大崎市の北東部に位置し、地区の南部は一級河川田尻川、北部は緩やかな丘陵地帯に狭まれ、東部及び西部は水田地帯と接する平坦な穀倉地帯です。

平成15年度に事業が始まり、23年の時を経て、今年度（令和7年度）事業の完了を迎えようとしています。

令和7年度小牛田農林高等学校

農業農村整備事業学習会(現地研修)を開催しました!

令和7年6月27日に、小牛田農林高等学校農業技術科農業土木コースの1年生を対象に、土地改良施設などを見学する農業農村整備事業学習会を開催しました。

この学習会は、農業土木コースで学ぶ高校生に、農業農村整備事業や地域の農業への理解を深め、学校での学習や今後の進路選択に役立ててもらうため、平成18年度から毎年開催しているものです。

ニツ石ダム



ニツ石ダムでは、管理棟にて、宮城県大崎地方ダム管理事務所の職員からダムの仕組みや役割について、説明がありました。

そのあと、普段は入ることのできない監査廊の見学を行いました。

次に、色麻町農業伝習館で、大崎市産業経済部農政企画課世界農業遺産未来戦略室の職員を講師に招き、世界農業遺産「大崎耕土」についての講義を行いました。

自分たちが住む地域の歴史や文化、それを守るために行われている取り組みについて、知ることができました。

最後に、桑折江頭首工で、国土交通省北上川下流河川事務所鹿島台出張所の職員から、鳴瀬川の概要や桑折江頭首工の役割についての説明を受けました。

色麻町農業伝習館



桑折江頭首工



学習会後のアンケートでは、「世界農業遺産に認定されるのが、どれだけ大変なのかが分かった」や「職員から直々に説明してもらい、将来のことを考えるきっかけになった」との感想がありました。

この学習会が、生徒の皆さんにとって、今後の学習や進路選択の一助となれば幸いです。

農地整備事業「小野田東部地区」にて 生き物調査を開催しました！

令和7年7月30日に、農地整備事業「小野田東部地区」（令和4年度新規採択）で生き物調査が行われ、加美郡西部土地改良区、加美町農林課の職員やたくさんの地域の方が参加しました。

まず初めに、田んぼの貯水能力を活用して、大雨の被害を減らす取り組みである「田んぼダム」について、当部の職員から、模型を使って説明を行いました。

次に、宮城植物の会から「水生植物」についての講義があり、参加者は生き物調査の前に、水生植物の特徴を学ぶことができました。

生き物調査では、植物と生き物の2チームに分かれ、植物チームは地区内の水田に生育する水生植物の種類と位置を記録し、生き物チームは周辺水路に生息する魚類・両生類を捕獲して、その分類と捕獲数を記録しました。

▶ 生き物調査の様子



◀ シャジクモ



▲ ギバチ

調査の結果、「シャジクモ」や「ミズオオバコ」といった植物や、「ギバチ」や「トウキョウダルマガエル」といった珍しい生き物に出会うことができました。参加者からは「このような植物が生育しているとは思わなかった。」と驚きの声も聞かれました。

今回の調査を通して、田んぼがこんなにも豊かな「自然の宝庫」だということを改めて実感しました。この豊かな自然を維持していくためにも、今後工事を進めるにあたって、専門家のアドバイスを参考に保全し、工事前後の環境変化を関係者で観察していく予定です。

農地整備事業完了地区の「下志田地区」にて タマネギなどの収穫を行いました

令和7年6月13日に、下志田地区にある有限会社大沼ファームの農場にて、地区の高収益作物であるタマネギなどの収穫を行いました。

下志田地区は、大崎市鹿島台に位置し、平成17年度から平成30年度にかけて農地整備事業を実施した地区です。



今回収穫したのは、タマネギ、ホウレンソウ、ニンニクの3種類です。予め掘り起こされたタマネギとニンニクは、葉と根の処理をして袋詰めを行い、ホウレンソウはビニールハウス内に植えられている状態のものを、地面に近い根元部分をハサミで切って収穫しました。

収穫した作物は、一般的なサイズに比べて大きいことが特徴的でした。



▲ホウレンソウを収穫する様子

宮城県北部地方振興事務所農業農村整備部
〒989-6117 宮城県大崎市古川旭4丁目1番1号
(宮城県大崎合同庁舎4階)

TEL：0229-91-0724

FAX：0229-23-5014

ホームページ：< <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-sgsin-ns/> >

Instagram「よしきたみやぎ」

< <https://www.instagram.com/yoshikitamiyagi/> >

